

第5回 事務局会議事録

日 時：2007年1月5日（金） 15:00～17:30

場 所：学会センタービル 会議室（B1）

出席者：村山会長、河端広報担当理事、今井総務担当理事、落合会報担当理事、
小口涉外委員長、大沢大会実行委員長、福井事務局長

【議 題】

- 1 . GIS技術資格認定期報告
- 2 . 理事会・総会の式次第について
- 3 . ニューズレター61号について
- 4 . 広報委員会より
- 5 . アルバイトの件
- 6 . 年会費の徴収について
- 7 - 1 . 来年度予算案について
- 7 - 2 . NPO法人の会員資格について
- 8 . 第2機関誌としての電子ジャーナル発行について
- 9 . GISA提案のGISレギュラーセッション（日本地球惑星科学連合2007大会）について
- 10 . 講演論文集のホームページ公開について
- 11 . 賛助会員アンケート報告

<継続審議事項>

- GIS用語委員会について
- 基本法提言委員会について
- Reviewed Datasetについて
- GIS専門家協会準備会について
- 新理事の選出方法について

【1 . GIS技術資格認定期報告】(代読)

「GIS技術資格認定期状況報告」を福井事務局長が代読。

「GISA賛助団体対象の説明会は盛況だった由、聞いている」

「協会設立を目指すロードマップも順調な進行の模様である」

【2 . 理事会・総会の式次第について】

2007年4月21日（土）15:00～17:00（予定）／理事会と総会を一緒に行う。

「決算・予算など理事会と総会は内容が重複する部分が多い上、例年総会開始時間が遅れて総会のみの出席者にご迷惑をおかけするため」

「委任状・出欠票の提出方法は従来の葉書を止め（費用がかさむ割に戻りが少ない）メールでの受付にするなど代案をニュースレターに掲載する必要がある

「会則に照らし合わせ、総会としての採決に不備は無い」

「以上のことば、事務局長提案としてIT理事会にはかる必要がある」

「尚、今後の課題として、代議員方式への転換を図ることを考えるべきだ」

「総会時に講演を行うなど、参加者の増加を図ることも考えた方が良いかもしれない」

【3．ニュースレター61号について】

「会長挨拶」「学会賞の募集」「事務局からのお知らせ」以外の議題について提案がなされた。

「学会賞受賞者からひとこと挨拶を貰う」

「コラムを掲載する」（今回は、広報委員会が担当）

「紙面に余裕があれば、基本法についてまとめて良いかもしれない」

【4．広報委員会より】

ニュースレターに催事・お知らせweb掲載のルールを告知したい。

（次号にコラムとして掲載）

2006年12月1日付IT理事会(会員紹介のメリットについて)の確認がなされた。

「回答数30.5%では、総意ととってよいのか不安になる」

「次回から未回答者に督促して、回答率を50%以上にするようにする」

「IT理事会には開封通知を付け、開封者は委任したものとするなど、みなし規定を作ったほうが良い（総会審議とする）」

【5．アルバイトの件】

4月までの臨時アルバイト雇用について、承認がなされた。

「仕事としてはwebの更新（メール、ワード、エクセルが出来れば今のところは充分）と事務」

「予算の執行状況と合わせて考える」

「経理処理上、雇用は予備費から出しておくべき」

「4月以降は総会で決める」

【6．年会費の徴収について】

事務局から、正会員の年会費納入率が7割、学生会員が3割であることが報告された。

「『理論と応用』1冊分の価格が年会費の学生会員については、滞納1年で除名とか、入会時に指導教官名を提出してもらうとか、少々厳しい規則を設定する必要がある（総会審議）」

「現在の会員にも、また少なくとも新入会員には出来るだけ口座引落しの利用を促す」

【7-1．来年度予算案について】

予算作成についての意見が出された。

「技術資格認定局は、入金を含め、どのように処理するか」

「アルバイトが1名、増える」

「SIGについては、全体予算を変えないまま、最大限10万円を支給する方法にする」

「今年度までは、年会費予算収入を年会費×会員数で算出していたが、来年度からは過大な見積もりを避け、実質ベースにする」

「今年度までは、年会費予算収入を年会費×会員数で算出していたが、来年度からは過大な見積もりを避け、実質ベースにする」

「会費滞納者については、2段階くらいを踏んで除名を行う」

「除名候補者リストを作成し、理事会・総会の場で配布する。知人がリストに掲載されいたら、声かけをしていただく」

「除名者はニュースレターに掲載するなど、ペナルティを考える（総会審議）」

【7-2.NPO法人の会員資格について】

継続審議

【8．第2機関誌としての電子ジャーナル発行について】

浅見編集委員長と協議の上、発行についての審議を進めることとした。

「純粋な学術誌『理論と応用』とは異なるコンセプトで、学術的研究成果よりも社会に役立つと思われる情報の掲載ではあるが、レギュラーの委員が必要となるのではないか」

「自発的投稿者がどれくらいいるのか、原稿がどれくらい集まるのかが鍵（常に新しいニュースでないと意味がないため）」

【9. GISA提案のGISレギュレーション（日本地球惑星科学連合2007大会）について】

会長から参加を促す理事メールを流すこととした。

「発表時間は12～15分程度、発表数は講演とポスターを合わせて30くらいが目標」

【10. 講演論文集のホームページ公開について】

他学会の例も参考にして、継続審議とする。

「web掲載の了承も含め、学会に著作権を譲渡して貰わねばならない」

「アブストラクトだけ公開？ 公開は会員のみか、非会員も含むのか」

【11. 賛助会員アンケート報告】

アンケート回答が全賛助会員の約1割と少ないので、メール、電話、手紙で回答依頼を重ねる。

「賛助のメーリングリストは70社程度（メール未登録や案内拒否などによる）」

「メールアドレス登録の有無のリストを涉外委員長・副委員長に知らせて対策を依頼する」

「担当者というより、社長宛にした方がリターンが良いのではないか」

<継続審議事項>

【GIS用語委員会について】

責任者を立てる、という状況

【基本法提言委員会について】

細かい訂正を加えている状況

【Reviewed Datasetについて】

未だ具体的でない。

【GIS専門家協会準備会について】

3月までに形にしていきたい。

【新理事の選出方法について】

総会審議として、内規による新理事選出、会長決定、副会長選出の選挙管理委員会を作る。

【他】

「講演論文集、ニュースレターに柱（頁の隅に入れるタイトルや号数、頁数など）を入れるようにして欲しい」

了解しました。今後、業者に指示します。

「ニュースレターのPDF版を作成するので、これまでのものを広報に送付して欲しい」

PDF化していないものについては、新規アルバイト雇用後に作成します。

「広報宛にGISAの新しいポスターを送付して欲しい」

添付ファイルで送付します。

【次回事務局会日程など】

2007年3月29日（木）15：00～ 於学会センタービルB1 会議室

〔予定される議案〕

- ・ 来年度予算案について
- ・ 来年度事業計画について など

以上